

山岳ぐんま



お別れの言葉

群馬県山岳連盟会長

八木原 窓明



1984~85年冬期アンナブルナI峰南壁隊支援隊としてBCへ。BCを後に下山する田中成幸さん

田中成幸さんが体を害されてあまり外出されなくなり、たまに昔の谷川のことや山のことので私が聞きに伺いますと、最後には「一杯飲んでゆくか？」でした。どの本のどこを見たらいいのかが分からなくなると最後は成幸さんであった。山のこと、谷川のことなど全般にわたる成幸さんの知識は学者並であった。登山の実践と相俟って、となると百人力であった。成幸さんは山以外のことも本当に博学でした。職人気質はとことん

突き詰める性格をも作り上げていたと思います。一病息災などと知った風なことを言い、元気に過ごしておられる、と安心していましたが、昨年十月最後の日曜日、二十一日は谷川岳山岳資料館にいました。最近は日山協関連の行事、仕事が多くなり資料館へ行く回数も減り気味となるが、例年最後の紅葉見物の賑わいで関越高速道も一般道も大渋滞となる。翌日も資料館詰めである。泊まってしまおう、みなかみ

の町か湯檜曾まで行き、酒とつまみを仕込んでようか、などと考えていた。そんな時気が付くと携帯に「田中さんからの不在着信」が入っているのに気づく。

折り返し電話を掛けますと成幸さんの奥さんからでした。部屋の途中で転んでから八日間も何も食べないので心配だとのことでした。早速その夜駆けつけ、声をおかけすると分かってくれて、ニコツとして下さいました。それが翌々日二十三日早朝の訃報でした。あまりの速さに言葉もありませんでした。友人知人全ての皆さんがあまりの速さに、寂しさを感じていると思います。

私が初めて成幸さんにお会いしたのは五十数年前の高校山岳部の頃だったと思います。県民登山大会や先輩にくっついて行った国体予選会などです。簡単に挫折した東京から前橋へ戻り、その後も思いは遂げられず前商山岳部OBが創設した群馬

ミヤマ山岳会へ入会すると今度は社会人山岳会員としての少しはまともな山登りが始まる。(昔から楽な方へ、安易な道を選んで生きておりました。ハイ)

四十年、五十年前の山の世界と言いますか、群馬岳連も役者が揃っていました。こちらが駆け出し、若輩でしたから余計にそう映ったこともあるとは思いますが競って登っていました。競って攀っていました。

知識も技術も経験も十二分に備え、山を歩き、岩を攀り、一九六九年には岳連救助隊を結成し西山年秋さんが隊長、成幸さんが副隊長



1978年ダウラギリI峰南東稜のBC 左端が田中成幸隊長

長として活躍し、指導委員会など、成幸さん無くして岳連の活動は成り立たないほどの活躍をされ、隊長としての七八年のダウラギリ・峰南東稜登山となりました。名実ともに群馬の登山界のリーダーでした。

ダウラギリ南東稜からの世界初の成功は果たせましたが、登高会の後輩・阿久沢廣さんはじめ、深沢雄二郎君、小林清君を亡くし、最後には小暮勝義さんにまで逝かれてしまいました。四隊員のこと、四隊員のご家族への思いを全て一身に背負われた田中さんは本当に辛かったと思います。申し訳ない気持ちは今も私共にあります。

昨年発行された「岳人十一月号」に三十年前にマッキンリーで遭難した山田昇、三枝照雄のことなどを書いた佐瀬稔さんの「ヒマラヤを駆け抜けた男」の書評、紹介がありました。その中に『山田の偉業とともにその裏には一ノ倉や群馬岳連の存在があった』とあります。『八〇年代の群馬岳連は、さしずめヒマラヤ登山の『虎の穴』だった。その最高傑作が山田昇だったと言えよう』とあります。その基礎を作り上げたのは他ならぬ田中成幸さんだったということ

です。

しかし、山は、登山は生涯の友。山登りは辛い、苦しいことばかりではありません。六十歳になってガイドの資格を取られます(暴挙の声も)。ハイキングなどではありません。本格的な登山ガイド資格でした。私に「おい、ヤギさん、この年をして年下の試験官に採点されながら資格を取ることの気持ち、大変さがわかるか!」。最後まで山、登山に対する想い、情熱とてもかかないませんでした。

たくさんの人々と多くの文化や自然の中で充分に楽しめたことと思います。羨ましい限りでしたがその活動の裏には「内助の功」を果たされた奥さんがおられたことも承知しております。「女房の好きな赤烏帽子」などと言ったら叱られるでしょうか?

成幸さんとの交友のあった皆さんの大半の人が酒を飲まない時の山屋、職人としての成幸さんは尊敬すべき人だったが、一旦酒が入るとなんと癖の悪い山屋、となってしまうのではないのでしょうか? これ「岳人」に書かれた「G県のHさんとTさん」がいなくなってしまうました。群馬岳連は穏やかになり過ぎるほど寂しく



1978年ダウラギリ I 峰南東稜のBC (4,200m) 前列中央に田中成幸隊長

なってしまうそうです。

まだまだやり残したこと、やり遂げたかったことがたくさんあったと思います。ですが、ご安心ください。田中さんの思いは後輩にしっかりと伝わったと思います。やり残されたことがありとは言っても田中さんは十分にやって来られました。山も酒も。

成幸さんが晩年には山や仏の版画を彫って、刷っては年賀状などにされていた。刃物を知る人の彫刻刀選びは厳しかったようです。「何事にも真剣な人だった」と思います。流石でした。いずれにしても「山と酒」、良い人生だったと思います。

昨年十一月の偲ぶ会は内輪で静かにお送りしようという声もありましたが、やはり成幸さんを送るのに酒が無い、では格好がつかないし、臥龍点晴を欠く?し、それよりも先ずご本人が喜ばないのではないか、成仏できないのではなにか、と勝手に解釈して賑やかにお送りすることが出来ました。私共もそう遠くなく参ります。しばらくお待ちください。どうぞ安心してゆっくりとお休みください。本当にありがとうございました。

ともに過ごした青春時代

群馬岳連参与 太田 忠 行

田中成幸さんの訃報は八木原園明会長からのメールで知った。

“形あるものは必ず滅す”と僧侶は説教する。ついに来たかとの感があつた。私が最後に訪ねたのが、田中さんが長男を亡くして落ち込んでいるときであった。田中さんに「降りなくてもいい」と

言つて、仕事場に行っている二階に上がつてみると、酸素吸入器をつけ、管を引きずりながら版画の制作に打ち込んでいた。その姿を今も思い出す。「太田さん、長男を

亡くした親の気持ちがわかるかい。寂しいよ」と一言。このとき奥様

は病院へ行つて不在であつたがしばらく話した後、帰りに仏像の版画をいただいた。今でも大事に飾つてある。

偶々神田のICI本店に立ち寄つたとき、同店でスポーツアドバイザーをしている登高会OBの越谷英雄さんに会つた。田中さんの近況を伺つたところ、入院を繰り返しているという。私は動揺を抑えきれず、長らく会つていな



1960年代と思うが、渋峠から山田峠を越えて白根山まで来たとき、偶然、田中さんたち登高会員と遭遇した。そのときの田中さん。隣はトランシーバーで交信中の阿久澤廣君(故人)

早速訪問したのであつた。思えば長い付き合いがあつた。私の所属は群馬独峰会、田中さんは群馬登高会で事務所はともに高崎市内にあり、群馬独峰会が群馬岳連に加盟するときに推薦してくれた。関係から登高会員と山行をともにする機会もあつた。特に田中さんとは年

齢が同じであつたので、当時の師匠もほとんど共通だったと記憶する。沼田山岳会の井上孝行さん、

佐藤和夫さん、群馬登高会の佐藤佐一郎さん、殿村さんなど。佐藤佐一郎さんは群馬県職員で県庁に勤めていた。私の職場と隣り合わせのこともあつて昼休みに何回か呼

ばれ、県庁裏の石垣で登山技術の教えを受けた。佐藤さんの下宿先は前橋市内にあつた。山に出かけない時の日曜日に佐藤さん宅を訪ねたとき、田中さんが女性を同伴して来た。女性

性は三品さんといつて前橋山岳会員であると紹介された。田中さんに彼女がいることはこの時まで知らなかつた。やがて二人は結婚する。このころ登つていた一の倉沢でときどき「ソノコー」というコールを耳にした。奥様の名前である。この木魂で田中さんが登つていことが分かる。また今日もきているな、「ドッポー」とコールして応える。

一九六八(昭和四三)年九月、日山協で公認指導員制度が定められたとき、群馬岳連では理事長の



川場スキー場において 2002年3月5日
前日、川場温泉で石井謙一郎さんの喜寿祝があり、群馬岳連の有志が集まつた。このとき久しぶりに田中さんとスキーを楽しんだ。

ように滑れない。シラビソの根元に転落して動けなくなっているところに田中さんが落ちてきた。二人ともキスリングの下敷きになつてもがきながらやつと這い出した。これも思い出の一幕である。

時代が移り、田中さんが、石井謙一郎さんから理事長を引き継いだ時に協力するよう請われて、桐生の樋口さんと二人で副理事長を引き受けた。指導委員会も遭難救助隊も一緒であつた。田中さんから「どこそこの氷が張つたから行こう」と誘われ、足尾や西上州の谷にも出かけた。氷ばかりではない。谷川岳はもちろん、榛名、裏妙義、二子など岩場は数え切れない。遭難があると出動した。死亡事故では手際よく遺体を処理する田中さんに敬服した。登山技術や装備の研究は常に怠らず、ときに酒の勢いから若い人たちを説教するので「太田さん、今日は田中さんが来るからきてほしい」などと防波堤代わりに呼ばれたこともあつた。青春時代をともに過ごした田中さん、惜しくも先に逝かれてしまつた。生者必滅会者定離諸行無常は世の常と人はいふ。…あの世でまた会いましょう。

安らかに。 合掌

田中成幸さんを偲ぶ

群馬岳連参与 齋藤長作

*8月11日は「山の日」です

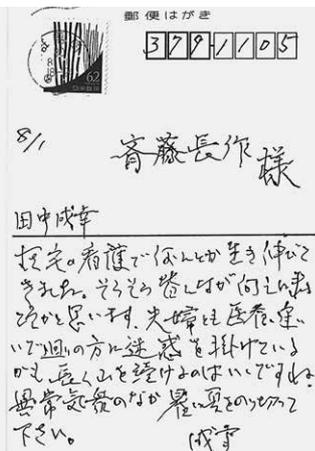


第21回大分国体山岳部門群馬県選手団
昭和41年10月23日～28日
・一般の部 監督：田中成幸
選手：齋藤長作・阿久沢広・加藤洋行
・高体連の部 監督：田端 穰
選手：村岡正一・長岡均

私と成幸さんの出会いは、昭和三十九年二月の谷川岳です。私が二〇才、成幸さんが二八才です。日山協の第二種指導員の検定でした。私は受験年齢に達していないので、オブザーバー受験です。沼田の須田さんと成幸さんが検定員でした。この時が私の岳連デビューで、以後岳連行事や遭難救助に、声をかけてもらいました。そして、昭和四一年十月には第二一回大分国体に、監督田中成幸、選手阿久沢広(登高会)、加藤洋行(富士重工)、

齋藤長作(松井田)のチームで出場しました。田中監督の好リードに、良く纏まったチームで、強化合宿から始まり、本大会でそれなりの成果を出せました。なにより四人の強い絆が結ばれた出来事です。折しも、昭和四二年、昭和四三年と岳連内会員の大型遭難事故が多発しました。穂高岳、谷川岳と岳連一丸となって事故処理に当たりました。このことが大きな力となって成幸さんが中心になり岳連

救助隊が発足したのです。そして、昭和四四年十月に第一回の岳連を挙げての救助訓練がノ倉沢コップ状岩壁で実施されました。参加者九十名という大訓練です。見事でした。現在の岳連では想像もつかない動員力と結束力です。そのエネルギーは、海外登山研究会の立ち上がりにも大きな後押しとなりました。群馬岳連の



最後の便り

その後の大躍進の幕開けになったのです。私は海登研に参加するか否かが決断の時でした。そして下した答えが、山登りから足を洗う事です。第一回のノ倉沢救助訓練を最後に、山を捨て、勤めを捨て、脱サラ。建築設備工事の会社を創業し事業に専念の道を選びました。ところが平成二年の春先、成幸さんが突然私の会社に現れたのです。二十一年振りでした。岳連主催で「山田昇記念杯登山競争大会」を秋に実施するので、「大会プログラムに協賛広告を出してほしい。」とのこと。成幸さんが来てくれたのでは、断れないよ!と、以後第二〇回の終

りまでお付き合いが始まりました。それから十一年後異変が起きました。なんと私の息子が、高校山岳部で山田杯を走るというのです。物好きに私も一緒に第十一回大会に走りました。五七才です。結果は思いの他良かったので、十年続けて走りました。息子は第五六回宮城国体に少年男子群馬として出場出来ました。山田杯出場で一度封印を切つてしまえば、再び山にのめり込むのに歯止めはありません。平成十四年には岳連理事に出ると、成幸さんが待ち受けてくれました。昔と変わらずご指導をいただき、二〇年余の空白が有るのに、

浦島太郎にならずに、山の世界に引き戻してくれました。そして、「長さんは、山では何の実績も無いのだから思い切つて日山協の仕事を手伝ってみないかい。」と背中を押して下さいました。日山協自然保護常任委員を引き受けて、十一年間の東京通いが続きました。いつも、要所で適切なアドバイスと、引き立てをしていただきました。それは山だけではなく、仕事にまで心を配って下さり、ご自宅の設備工事までさせて頂いていただきました。「我社は高崎市の指定工事業者でないから」と断つても、「長さんに頼みたいのだから地元業者を下請けに使ってやってくれれば良いのだよ。」とまで言ってもらいました。私が山を離れていた空白の三十年の間の成幸さんを語ることはできません。私がお付き合いしていた延べ二五年間の成幸さんは、誠実で、後輩思いの筋の通つた人でした。生涯現役を貫く姿勢は、私にとつてずっと目標です。成幸さんの年齢を乗り越えて長く山に登り続けることが私の恩返しだと思つて頑張ります。見守って下さい。

全国高校総体登山大会出場感想

—3位入賞して—

群馬県立前橋高等学校

山岳部顧問 里見 至

1 大会概要

会場 三重県 鈴鹿山脈(三池

岳・釈迦ヶ岳・国見岳・御

在所山・鎌ヶ岳)

期日 二〇一八年八月三日～八月

七日

選手氏名(役割) 三田修平(C.L.

気象) 内山晃良(S.L・救

急) 狩野律斗(天気図) 佐

藤勇斗(自然観察)

監督 里見 至

結果 第三位(99・6

点)

コースおよび日程

8/3 菰野町町民セン

ター(開会式) 〓幕

营地(三重県民の森

以後同じ)

8/4 《暑さのため

コース変更及びサブ

ザック行動に変更》

幕营地 〓八風キャン

プ場駐車場:旧射撃

場跡(終日隊行動)

〓三池岳:八風峠:



キノコ岩

旧射撃場跡:旧競馬場跡 〓幕营地

8/5 《コース変更》幕营地 〓

朝明駐車場(終日隊行動):

根の平峠直下の分岐:ブナ清

水:根の平峠直下の分岐:朝

明茶屋キャンプ場:朝明駐車

場 〓幕营地

8/6 《コース変更及び隊行動

幕营地:宿舍

8/7 宿舍 〓菰野町町

民センター(閉会

式)

に変更》幕营地 〓

「御在所ロープウエ

イ」の駐車場(隊行

動):御在所岳中登

山道口:負ばれ岩

:地藏岩:キレッ

ト:朝陽台広場:

国見峠:国見岳手

前:国見峠:朝陽

台広場(パー

ティー行動、御在所

山散策) 〓「御在所

ロープウェイ」の駐

車場:宿舍

8/7 宿舍 〓菰野町町

民センター(閉会

式)

2 顧問感想

猛暑による過酷な状態での大会であった。昨年以上位入賞を目指していたが、11位となり選手監督とも悔しい思いをした。今年こそは優勝するという強い気持ちで選手全員に共通目標として存在し、そのための努力を実践できたことが結果につながったと思っている。しかし、その結果は選手だけでなく、他の部員や家族、登山専門部の先生方など多くの関係者の指導、応援のおかげと実感している。登



ルを4人の選手が私の首にかけてくれた。監督の喜びを感じさせてもらいありがたかった。

再来年には群馬でインターハイが行われる。3位に満足することなく県内の多くの学校とともに競争し、意識を高め合い今後の登山活動を行いたい。(監督 里見至)

3 選手感想

去年は思うような結果にならずその悔しさをばねに1年間優勝目指して努力してきました。しかし、優勝にはあとちょっと届かず少し悔しいです。でも今まで努力していくなかで多くのことを学び、本番では自分たちのベストを尽くすことができたのでとても大きな達成感を得ることができました。自分を大きく成長させることができました。とてもよかったです。(三田修平)

昨年度の反省を活かし、万全の準備を整えて、優勝という目標に向けて頑張りましたが、3位という結果になり多少の悔しさが残りました。しかし、自分達のベストを尽くすことができ、また、多くの方々に支えられて得ることの出来た3位という結果はかけがえのないものだとも思っています。(内山晃良)

九月救助訓練について

群馬岳連遭難対策委員会 友野雅晶

日時 二〇一八/九/九

場所 沼田市内岩場

訓練内容

現場でのルート工作

ワイヤーの張り込み

ワイヤー使用において

の段切り

ピグリグシステムでの

引き上げ

現場でのルート工作について

今回、ルートは危険でないため、確保なしでフィックスを張った。

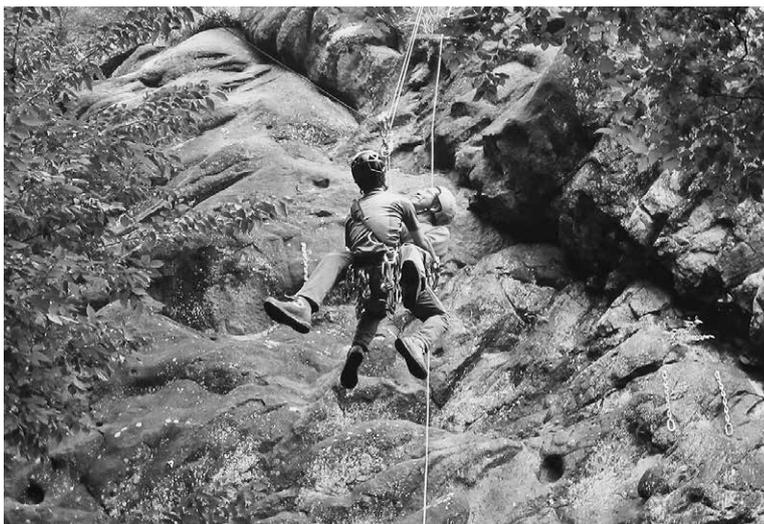


岸壁基部での訓練準備

*山岳保険は必携登山装備です

コース変更が重なり少々驚きました。しかし、楽しむことを念頭に臨んだため、人生初の全国の舞台でしたが落ち着いて参加することができました。入部以来ここに来るために努力してきた甲斐があり、自分の担当ではしつかり満点を取る事ができました。来年度なる目標に向けここをスタートとして精進していきたいと思えます。(狩野律斗)

自分なりに出せる力は出せたかなと思えました。猛暑によるコース短縮などイレギュラーな展開などもありましたがとても充実して大会で競い合い、楽しむことができました。結果は3位入賞で嬉しく思えた反面悔しさの残るものでした。来年度は、今回得た知識や情報を生かして優勝を目指したいと思います。(佐藤勇斗)



ワイヤー張り込み救助風景

一・二番手と同時に上がり、一番手は上へ二番手はルートの折り返しなどで残りにとられず支点を区切った。

ワイヤーの張り込みについて

ピグリグシステムを用いて張り込むが必ずシステムは吊った時にワイヤーが切れる恐れがある為1/4として三人で行う。

支点は必ず同一線上とし、今回は一つの支点よりディスクをとり、破損を避けるためゲートの反対側にピグリグを構築した。

ワイヤーストッパーは上げ過ぎると移動できなくなるので、動いたらどうなるかを考え作業する。

ワイヤー使用においての段切りについて

上での支点はワイヤーが引つ張られる方向を加味して支点と飛び金をセットする。

救助を要救まで下ろす際、ディスク

ク操作は手の位置や向きに注意して行う。

段切りから、下での張り込みは終わるまで上のディスクは固定する。

その後は慎重にワイヤーを送り二人を搬送する。

ピグリグシステム



レスキューハネスによる引き上げ風景

ムでの引き上げについて

引き上げ時は常にプロトラクションの部分は巻く。

結び目の通過時、一つはレスキューセンサーを外しピグリグを戻す時に付け替える。

もう一つはプロトラクションの通過だが、はじめはグリグリをバックアップに行った。

本来はプロトラクションの部分で弛みが出るまで巻き、ピグリグ側は手で押さえて、カラピナに掛けたままプロトラクションのふたを外し掛け替えればいいことがわかり、全体を通して今回も非常にいい勉強になったので今後にも活かしたいと思う。

全国遭難対策委員長会議 研修参加報告

群馬岳連遭難対策委員会 櫻 澤 斉

期日 一八年六月二三・二四日

会場 東京都晴海 海員会館

前副隊長の突然の転勤のため救助隊古参である私が副隊長を引き継ぐ事になりました。

町田隊長 角田副隊長で救助隊は安定して指揮・運行されていくのだろう。そして、人知れずリタイアしようと思っていた、私には迷いがありました。

今も迷っています。

そのような時、会議があると聞き開催地が東京であり時間も都合がつく日程だったので、今の自分に何か得るものがあるのではないかと参加してきました。全国で有名な山を持つ県の遭難対策委員長・委員の方々は自信をもって各地域



町田委員長挨拶



各組織で作成のココヘリ

で遭難対策・救助に当たられており、群馬とは違った行政とのかかわり方をしている、様々な救助活動をしています。各都道府県山岳連盟で救助隊を組織して持っているのは極わずかですので、群馬は救助活動を多くしているのだろうと思われる方もいました。

現状、群馬の山岳救助活動は警

察と消防が行っています。警察では谷川警備隊と山岳捜索救助隊が組織され、行政が民間の救助隊を動かす捜索はこれからもあるとは考えにくいと思います。救助隊の存在意義を何処に置くのか改めて考えなければならぬと思わされました。

岳連内部の関係もそれぞれ団体によりかなり違っていました、中でも高体連と指導委員会が密接に繋がる千葉県では、双方に良い関係が築かれているように感じられました。研修の中で去年の那須岳における高校生雪崩事故を協議することができ、実際に捜索に当

たられた方ともお話ができました。あつてはならない、いたたまれない事故です。このような事故も遭対・指導・高体連の連携が取れていれば防げたのではないかと研修を通して思いました。

山岳遭難事故調査報告では、風土によつて山岳事故の形態が異なることを知りました。例えば遭難事故が起きやすい時間がイギリスと日本では違う、日本では40%を占める道迷い遭難が海外では少ない事など、日本の中でも風土によつて事故の形態が異なる事。今

後統計の解析が進み 登山目的の山域の事故が起きる形態や時間が解れば、もっと限定的な注意喚起ができるようになり ここに行くときはコレを必ず持つていく等の必需品の設定も可能になるでしょう。今後に期待したいです。

今回 色々学ばせてもらい、副隊長をどのように熟していけばいいのかと、さらに悩むような事ばかりでしたが、何とか自分なりに答えが出るまでは続けようとおもいます。以上簡単ですが報告いたします。

群馬岳連遭難救助隊 妙義山訓練

伊勢崎山岳会 唐 澤 守

平成三十年十一月十七日・十八日「二日間」

裏妙義ロックガーデン 隊員十二名。山梨・新潟から、消防、警察遭対、看護師、外部 六名

十七日

ロープレスキュー、スケツドス
トレッチャー搬送、他基本動作

十八日

ワイヤー搬送

「発見!!高さ百メートルの垂壁の上部二十メートル前後に人が吊り下がっています!!」

こんな想定で訓練スタート。
ミーティング

救助手段、ルート、装備、など副隊長が提案し、隊長がリスクマネジメントをしながら、全体の流れを決定し、隊員の持ち場も決まる。
ルート工作

救助隊ではウィックスロープを張り、ユマールで登攀します。

トップは、とにかく強く速い隊員。セカンド、サードはスムーズに荷揚げが出来るように、支点の構築とルート整備。さらに熟練隊員が修正していきます。

荷揚げ

今回はワイヤー搬送の為スチール製の資材が多く隊員は肩に食い込ませながら背負い揚げる。隊長の申し送り「口癖？」で自分の荷物は最小限!!

ルート工作の良し悪しで荷揚げの時間短縮や体力の温存が図れます。

ワイヤー張り込み

要救助者の垂壁上部尾根に到着と同時に隊長の待機しているペースと、情報交換しワイヤーの角度

など確認。最も大事な事は、アンカー。大人二人と百五十メートル近いワイヤー。その他、衝撃荷重などに耐えうるアンカーの構築は必至です。

搬送

要救助者の上部から下降開始。これはデイスタンスコントロールで行います。救助作業を行う上で両手が自由になるのは強みです。無線を使い確実な連携を必要とします。十センチの下がり過ぎで大変な負荷と非効率、安全の低下となります。とにかくチームワークはとても大事です。

救助隊ではフェイクの人形を吊り下げてはけません。生身の隊員を要救助者役にしていきます。救助がもたつくと、寒かったり、痛かったり、救助を待つ身、救助される



崖壁での登下降訓練



傷病者の初期観察を行う隊員

側の状態がわかります。

要救助者は百メートルの垂壁にずっと吊り下げられ救助を待つていた。

ここまでたどり着くまで随分時間がかかる。

そして隊員が要救助者を確保しザイルを切断する時、皆が、緊張

する。緊張したザイルに軽くナイフをあてるとザイルが跳ね上がり、

それで上部隊員たちは切れた事を確認する。隊員に抱えられ無事に搬送が完了した時、何とも言えない安堵感が全身を包み込みます。

なぜ緊張や安堵感があるのか？救助隊は訓練の為の訓練をして

雪山レスキュー講習会

前橋山岳会 毛呂憲治

平成三十一年一月十九、二十日に土合山の家にて、雪山レスキュー講習会が行われました。参加者は十二名と少なかつたですが、個別指導のようだと参加者からは好評でした。

今回の講習会の目的はとてもシ

いません。訓練を本物の山の中で生身の人を吊り下げて救助を実践しています。気を抜けば訓練で重大事故が起きる場所です。

隊長の課題の中には、過去の事例で起きた問題点を経験させるというものが多々あります。イレギュラーに対応する応用力は現場では必要不可欠です。なにしろ相手は自然です。何が起るかかわかりません。対処方法などは経験の中から養われていくものだと痛切に感じました。

民間救助隊として救助の出勤はほとんど無いと聞いています。それでも熟練度を上げて安全確実に迅速な救助が出来るように努めていきたいと思えます。

や低体温症のメカニズム、雪崩が発生したらどう動くのか、パッキングと搬送、ビーコンの特性と使い方を勉強しました。

ビーコンは何種類あるかご存知ですか？アナログからデジタル、シングルアンテナからトリプルア

ンプルで、アバランチトランシーバー(以下ビーコン)、プロービング、掘り出しを、生存率の高い十五分以内に行えるようにすることです。シンプルとは言っても、知っていた方が良いことはたくさんあるため、一日目は座学で雪崩



低体温に対応したパッケージング

ンテナまで様々な機種があります。今回は10種類以上の機種がありま... 最新の機種を購入すると話していま... ビーコン操作にはある程度... 習熟が必要ですが、最新機種は... 何をしたら良いか画面にイラ... ストで表示される物もありますの... で、これから購入を考えている方... は、最新機種がお勧めです。

2日目は屋外でア... ランチトレーニング... を行いました。ビーコン... 操作の復習、プロービ... ング、掘り出し方、シェ... ルターの作り方(ピッ... トとスノーマウント)、... 最後に雪崩レス... キューのシミュレ... ションを行いました。

る)、ファイブサーチ... (絞り込む)です。今... 回の講習では雪崩発生... からプローブでヒット... するまで、2分以内と... いう制限時間設定があ... りました。プレッ... シャーからファイブ... サーチを急いでしま... 埋没者の場所の特定に... 時間がかかってしま... 参加者もいましたが、... 落ち着いてファイブ... サーチすることで、2... 分以内に埋没者を見つ... けることができました



野外での実践トレーニング風景

者もいました。最後のシミュレ... ションでは、実際にスタップ(私... を埋めて掘り出す体験をしてもら... いました。物が埋まっている時と... は明らかに参加者の緊張が違うの... を埋まりながら感じる事ができ... ました。

最後になりましたが、今回の講... 習内容は自分で持つことも大切で... すが、一緒に行く仲間もできない... と自分自身は助かりません。自身... が講師になって広めることで、さ... らに理解が深まると思いますので、... しつかり仲間内に伝えてもらいた... いと思います。皆さんの安全登山... を願っております。

H30年度 参加者44人 (男24、女20) 講師18人

回数	実施日	内容	参加	講師
1	9/6(木)	開講式 座学①「登山とは(必要な知識・技術)」鹿田 座学②「読図」	44	15
2	9/13(木)	座学③「シルバコンパスの使い方」山田	41	13
3	9/15(土)	登山実技「榛名山」 1班(掃部ヶ岳)、2班(烏帽子岳)、 3班(天目山)、4班(三ツ峰山)	35	11
4	台風延期 10/8(月)	登山実技「榛名山」 1班(三ツ峰山)、2班(解体)、3 班(烏帽子岳)、4班(掃部ヶ岳)	18	8
5	10/4(木)	座学④「山の天気・気象」高柳 座学⑤「登山計画書」	36	11
皆勤(修了証)第4回は延期のため除外			31	
特別 講習	3/2(土)	登山実技(スノーシュー) 「玉原湿原周辺」	申込20	

今年度もたくさんの方に応募し... ていただき定員を五名増やしたが、... それでも四、五人の方にお断りす... る事態となった。過去にこの登山... 教室に参加したことがあるという... 人も毎年何人かいるが、ほとんど... が初参加者で、登山人口の多さと... 安全登山についての意識の強さを... 感じることができる。

今年度は9月に入ってから雨の... 近年は異常気象も多く注意してい... る。

日が多く、実技講習を実施する... どうかの判断に悩まされた。一回... 目の実技はそれほど強い雨ではな... くなるとか実施することができ... が、二回目は台風が接近というこ... とで延期を余儀なくされた。二年... 前にも同じことがあったが、延期... の連絡や延期日の設定、班の再編... 成など大変な作業が必要になる。

平成三十年年度
登山教室
実施報告

群馬岳連登山指導委員会
対比地 昇

かなければならないところであるが、予備日を設定したり連絡網を作っておく等して、対応しやすいようにする必要があると感じた。アンケートの回答の中に雨の中の登山は楽しくなかったという意見もあったが、このような経験も必要であると前向きに考えてもらえるとうれしい。

座学は毎年行っている地形図、シルバコンパス、計画書に加えて、「登山とは(必要な知識・技術)」と「山の天気・気象」という二つのテーマを設けた。登山というスポーツのすばらしさや特徴、注意点を熱く語ってもらったり、高層天気図の見方を解説してもらった。高層天気図は少し難しかったようであるが、天気を予測するには地上天気図だけでは分からない点があり、高層天気図の見方が分かるより詳しく予測することができるときたら身につけてもらいたい知識である。

今年度は参加者が多く、実技は一班増やして四班編成で実施した。班を増やすと講師もそれだけ多く必要になる。たくさんの方の協力していただき、無事に終了することができた。

アンケートの結果

①参加者の男女数、年齢構成、この登山教室の参加経験。(回答 36人)

男	18
女	18

～30	1
31～40	3
41～50	7
51～60	12
61～70	11
71～	3

初めて	29
あり	8



実技 登山装備の説明 (榛名 鬢柳山)



実技 下り歩行技術 (榛名 烏帽子ヶ岳)

高い(希望額円)	3
適額	29
安い	3

⑥参加費の5千円は

仲間に誘われて	4
仲間を見つけるため	2
登山の知識を増やしたかったから	32
登山の技術を習得したかったから	21
情報交換のため	4
もっと理解を深めたかったから	14
その他	2

⑤参加した理由は何ですか?

あり	17
なし	19

③小屋泊の経験は

あり	8
なし	28

④テント泊の経験は

0～5回	14	0～2年	16
6～10回	9	3～4年	6
11～15回	6	5～6年	4
16～20回	3	7～10年	3
21～30回	1	11～15年	0
31回～	3	16～20年	1
		21年～	4

②登山を始めて何年ぐらいですか。また、1年に何回くらい登山に出かけますか。

理解できた	19
少し理解できた	17
あまり理解できなかった	0

今後の登山に役立つ	19
少し役立つ	12
あまり役立たない	3

理解できた	16
少し理解できた	16
あまり理解できなかった	3

今後の登山に役立つ	20
少し役立つ	11
あまり役立たない	0

理解できた	15
少し理解できた	19
あまり理解できなかった	3

今後の登山に役立つ	21
少し役立つ	12
あまり役立たない	0

理解できた	19
少し理解できた	13
あまり理解できなかった	0

今後の登山に役立つ	21
少し役立つ	10
あまり役立たない	0

理解できた	
少し理解できた	
あまり理解できなかった	

今後の登山に役立つ	
少し役立つ	
あまり役立たない	

理解できた	27
少し理解できた	2
あまり理解できなかった	0

今後の登山に役立つ	28
少し役立つ	1
あまり役立たない	0

理解できた	2
少し理解できた	17
あまり理解できなかった	14

今後の登山に役立つ	6
少し役立つ	17
あまり役立たない	7

⑦各回の講習はどうでしたか?

楽しかった	25
少し楽しかった	10
あまり楽しくなかった	1

今後の登山に役立つ	26
少し役立つ	9
あまり役立たない	0

期待通りだった	21
少し期待はずれだった	7
期待はずれだった	1

⑨全体を通して、今回の登山教室に参加してみたいか?でしたか?

読図	17
山の天候と天気図	13
山での危険の回避	26
山での応急処置	17
服装・装備	10
歩行技術	14
行動計画	12
食糧計画	7
生活技術	3
その他	2
雷の対応	
山岳アプリ	

無雪期のテント泊山行	19
無雪期の小屋泊山行	13
縦走路でのロープワーク	15
岩登り	9
沢登り	3
雪山登山	6
その他	1

⑧登山教室のテーマとして興味のあるものは?(複数回答可)



実技 「ツェルトの使い方」(榛名山)

⑩講習について感想、意見など

- 詳しく丁寧な講義をありがとうございました。理解力不足で恐縮ですが、今後いただいた資料を復習しつつ、少しでも理解を進めたいと思います。
- ココヘリ、山岳保険は役に立つと思った。きちんとした計画を立てることが大事である。
- 実技は8時間も必要ないと考えます。山岳アプリとか少し入れてもらえるとありがたい。
- みなさん山歩きのベテランさんらしく、歩くのが速く慣れているようでした。登山を始めて半年の私はついていくのが大変でした。つくづく経験を積まないとと思いついていきました。
- ②読図早くて付いていけなかった。残念。④わかりにくい。マイクいらぬ。聞きにくい。⑤計画わかりやすく、聞きやすい説明だった。ハッと内容だった。反省する点あり。
- 山に登るのが楽しみなのに地図を読めないとは思って参加しました。特にコンパスの使い方なんとなく分かりました。実技でよく教えていただいたので、何回もやってみて自分のものになればと思います。計画書のところでもいろいろと注意点を教えてもらえて良かったです。
- 実技では地形図の読み方だけでなく、榛名の歴史や山の楽しみ方などいろいろな話が聞けて良かったです。山での応急処置はぜひ教えてほしいです。天気図ではここまで詳しくやらなくてもいいような気がします。
- コンパスをこのように使うというのは初めて知りました。(本格的な登山をしたことがなかったので)実技でやってみて、なんとか分かりました。まだまだ不安なのですが、場数を踏んでいきたいです。座学「山の天気・気象」は専門知識がないと難しいです。
- シルバコンパスの使い方は説明するのは難しかったらと思います。でも、先生は言葉がはっきりしていて説明がとても上手でした。私も真剣に聞いたので、すぐに理解できました。実際に実技の登山でコンパスを使えたときは嬉しかったです。座学「登山計画」についても分かりやすい話で役に立ちました。
- コンパス、読図をマスターしたいです。2回目参加できなくて残念でしたが、実技はとても参考になりました。来年も参加したいです。
- 前回、講師より地図読みができるようになるには3、4回参加すべきとアドバイスがあったので参加しました。
- 座学「登山計画」もっと時間をとってほしかった。
- 理解力のないこと、コンパスの使い方がいまいちでした。聞き直しをたくさんすれば良かったと思います。コンパスのあて方を最初に詳しく繰り返すとわかりやすいと思います。
- 「山の天気・気象」は難しかった。
- 全体を通して時間が足りない感じでした。もっとじっくり時間があるといいなと思います。内容は盛りだくさんで楽しく学べました。地図、天気図の資料がもう少し大きいとありがたいです。
- 地図読みを丁寧に教えていただき、よく分かりました。
- よく理解できたし、勉強になった。また参加したい。いろいろお世話になりました。

⑪全体を通して、感想、意見、改善点など

- 充実した内容で大変勉強になりました。ありがとうございました。可能ならまた受講できればと思います。
- 何回も講習会をこなして、講師陣のレベルを上げてほしいです。全体的に良かったです。
- お世話になりました。ありがとうございました。
- お世話様でした。
- 実技の日程は予備日を決めておいてはいかがでしょうか？名札を付けることは良いと思います(先生も生徒も)。お世話になりました。ありがとうございました。
- 今回知っている人がいなくて不安でしたが、同じグループの方とも仲良くなれて良かったです。スノーシューではお世話になれるので、また講師の皆様にもお会いできるのを楽しみにしております。以前より少し自信が持てるようになりました。ありがとうございました。
- 榛名湖の地形図を購入するのに、県内の様々な書店や登山用品店を回ったが、置いてなかった。(5、6店は問い合わせた)なんとか購入できたが、座学では1回しか使わず、実技でもプリントした地形図が配布され、もう少し苦労して購入した地形図を使った内容にしてほしかった。他の方も地形図購入は大変だった様子なので、教室で一括購入し販売するなど、対応していただきたい。
- 講師の先生方のお人柄の良さに接することができて心地よかったです。山をやる人は、みなさんまっとうなんですね。仲間に入れていただきたいとすごく思いました。
- シルバコンパスの使い方のとき、後ろの方々が具体的に教えてくれたのはありがたかったのですが、やり方にばらつきがあり、前で説明している方の方法と違い、混乱してしまいました。教え方は一度統一していただき、裏技は基本を習得した後に教えてもらえればと思います。その他は大変実のある講習でした。これからたくさん登山に挑戦したいです。
- ためになる講習で参加して良かったです。何の知識もなく、なんとなく山が好きで、にわか「山ガール」でした。ちょっとおろこさんになったので、これを活かして楽しく安全な登山ができるよう心掛けます。ありがとうございました。
- 初心者にとって雨の中の登山はあまり楽しいものではありませんでした。先の天気は分からないので予定に入れずらいとは思いますが、できれば晴天の登山が山の印象は良いかと思います。今回台風のため予定が変更となり、欠席となってしまい残念でした。
- お世話になりました。安全に登山できるようにしたいと思いました。ありがとうございました。
- 2年連続の参加でしたが、勉強になりました。来年もよろしくお願ひします。
- 後ろの話し声がうるさい。
- 参加できて良かったです。奥が深く、感心することが多かった。たくさん関係者の方に感謝します。ありがとうございました。
- 昨年度とは違った内容で、あらためて楽しく参加できました。来年度も参加したいです。ありがとうございました。
- 登山(小説)が好きで、本を読んでいるときの想像登山より実技はおもしろかった。でも想像と全然違いました。本当に人生で初めての登山だったので、いろいろ勉強になりました。できれば個人会員に入りたいです。

平成三十年度 登山教室 スノーシュー講習 実施報告

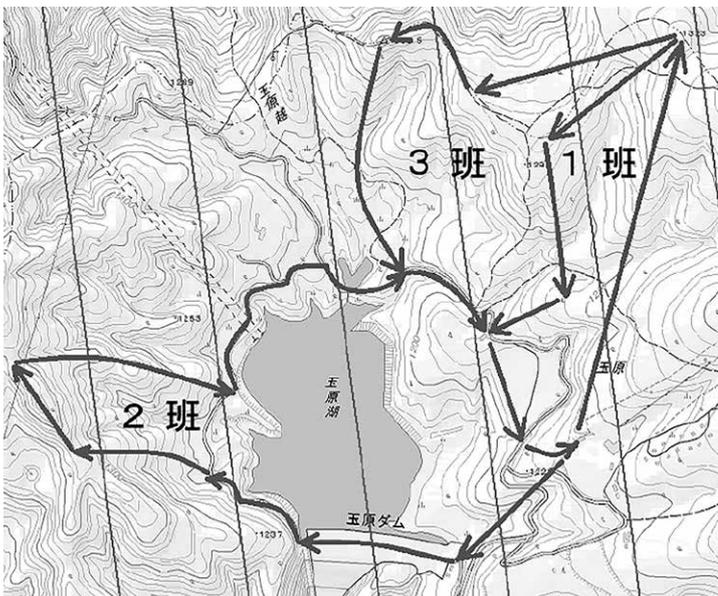
群馬岳連登山指導委員会 対比地 昇

平成三十一年三月二日に登山教室今年度最後の行事「スノーシュー講習」を行った。

今年度は秋の参加者も例年と比べて多かったが、このスノーシュー講習も十八人とたくさんの方に参加していただいた。班も三班編制にし、講師も各班に三人、二人という配置で実施した。

天気は快晴、弱風であったが、気温はやや低めだったので少し寒く感じられた。しかし、午後になると風も弱まり、たつぷりの日差しの中を気持ち良く歩くことができた。稜線またはピークまで登ると谷川方面や武尊山などの眺めも楽しむことができた。今年は例年と比べて雪が少なく、コースの状況

も大分変わっていた。渡渉力所では口の開いているところもあり、センターハウスの屋根の雪も落雪が危険な状況であった。また、センターハウスまでは道路が除雪されて一部舗装道路を歩くということも余儀なくされた。このような状況は一週間前の下見で把握していたが、下見をすることに



コース図



スノーシュー下り歩行



玉原湿原



スノーシューと輪かんじきの特徴

よってより安全に実施できるものと考えている。
講習内容は読図(コンパスワーク、地形図の見方を中心にスノーシュー歩行、雪山での危険の回避などを行ったが、参加者から秋の講習より有意義であったという声もいただいた。登山道が雪で埋もれて見えなくなり、どこでも歩けるといふ状況での読図講習は大変有効であるが、当然雪のない時期にも活かすことができるものである。踏み跡のない真っ白な雪の上を歩く心地よさと遠くの雪山のきれいな景色を楽しみながらの講習であった。

青蔵高原再訪と初めてのラサ

群馬県山岳連盟理事長 佐藤 光 由

三十三年前日中合同黄河源流探検隊に隊員として参加。黄河源流がある青蔵高原を三菱パジャロで走り回った。黄河の源流に立ち、源流の付近の三山に登った。その青蔵高原を走る青蔵チベット鉄道ができたのが二〇〇六年。そろそろブームも下火と思つて十二年たった今年、この天空鉄道でまだ行つた事が無いラサへ行くことにした。友人で風の旅行社の古谷君をお願いしてツアー旅行へ。

十一月十七日

早朝便の中国エアーのため、朝三時に日本山岳会会員Oさんを迎えに前橋市内へ。関越から圏央道を通つて成田へ。予定より早く到着。ここでもう一人のツアー参加者Nさんと合流。

中国エアーのチェックインは機械。全て中国語。わからないのでENGに変えるときさらに分からなくなつた。日本の空港で日本語が

使えないとは悲しい。

8..50 CA460便は予定通り成田出発し成都経由で西寧へ。

成都で入国手続きをして同便に乗りとうと急ぐがイミグレ大混雑。カスタムはCA地上スタップの誘導



ポタラ宮殿

でぼろスルーとなつたが、出発時に間に合わず。オイテイカレタ。現金なし、カードは中国のものしか使えずヒモジイ。中国はキャッシュレス社会なんて誰が言った！古谷君に連絡してガイドを向けてもらう。列車の出発に間に合うよう四川エアーの早朝便で西寧に行く事となる。

十一月十八・十九日

またまた三時起き。四川エアーで西寧へ。雪！寒い！ガイドはない。しばらく待つと女性ガイドが来て到着。雪で高速道路が閉鎖したとの事。タール寺見学の予定だったがチベット博物館に変更。予習だね。三十三年ぶりの西寧は変わったこと著しい。緯度が高いからラサより寒かつた。

十四時発の列車に乗るため三十三年ぶりの西寧駅へ。入口では空港並みのチェック。問題の地域だからな！ここで五人目のSさんと合流。これでこのツアーフルメンバー。列車には付き物のビールを買い込むが、冷やす習慣が無いらしい。出発二〇分前によくやうくホームへ入る。一等寝台7号車8区画上段、781元一三二〇〇円。車両ごとにアテンダントがつくが愛想全くなし。一緒に写真を

撮るも、にこりともせず。おじさんじゃダメかな？ラサに着くまで全くの無表情。「オモテナシ」で東京オリンピックが決まるわけだ。

14..01定刻通りに滑り出す。ディーゼル機関車。中国は全土北京時間なのでここ西寧では十二時頃かな。西寧の標高は二二五〇m。一時間も乗ると三〇〇〇mを越える、滋賀県程の大きさの青海湖が見えてくる。三十三年前は南側を通つたが今回は北側だ。三十三年前は五月だったので菜の花がたくさんだったのを思い出す。列車は機関車をかえるゴルムドまで三〇〇m以上の高原を行く。放牧のヤクや羊がたくさん。全長四〇〇m、標高三五〇〇mの関角トンネルを越えてゴルムドへ。22..00頃、真つ暗の中に明るい街が現れゴルムド到着。ここで大半の乗客が降りる。機関車の交換を行うのを見に行ったのだが、これもまた駅員さんがあっちへ行けとつれない態度。写真集を見るとう事なんだと納得。ゴルムドから列車内に酸素供給が行われる。四〇〇〇mを越えるからだ。0..00頃、標高四六四八m、全長一六八六mの崑崙山トンネル(世界で

一番長い凍土トンネルを抜け崑崙山峠へ。ここからココシリ自然保護区に入り、チベットカモシカやチベットノロバが見られるわけのだが、残念ながら夜中走っているから何も見えない。寝ようとするが高度障害で熱が出ているよううで寝られない。気密性が高い列車というのは信憑性無し。5…30頃、標高五〇七二mのタングラ峠を越えタングラ駅へ。北京時間だからまだ真つ暗。あちこちで体調不良の声が聞こえてくる。寝るのを諦め車窓へ。ようやく明るくなるのは八時から九時にかけてだ。朝食をとり、食堂車へ行くが、体調不良者が多いらしく人はまばら。女房は酸素吸入を始め、気分が落ち着いた様子。車窓には雪をかぶった高い山が見えてくるが、



ライトアップされたポタラ宮殿

もちろん名前前は分からない。11…40ラサ到着。三六五八mは富士山より少し低い高さ。高度障害は少し良くなっているが、動脈血酸素飽和度は八〇%を切っている。ここで西寧ガイドとお別れしてラサガイドとなる。ポタラ宮殿の実物に感激しながらホテルへ。居心地の良さそうなシャンバラホテルへ案内される。部屋に酸素供

給器がついている。散歩がてらに近く中華料理屋へ。ビールを飲もうとしたがもちろんガイドに止められる。初日はダメだつて。料理はちゃんと美味しくな

い。そのまま散歩しながらチベット仏教総本山のジョカン寺周辺の八角街を巡礼者とともに歩く。五体投地をしながら歩く者も。これぞチベット！

夜はホテルで中華料理これもまたちゃんと美味しくはない。ギャコック鍋が食べたかったがお高いのかガイドがNG。当然軽く一杯。負荷をかけたほうが良いという理屈。味の無いおかゆ。塩を頼んでもなかなか出てこない。スマホ片手に悩んでる。私のスマホで翻訳ソフトを見せたらすぐに納得。たくさん塩が出てきた。昔と旅の仕方が違って来た。



ヤムドク湖とニンチンカンサ

なんと中国はフェイスブック、LINE、Googleが利用できる。ホテルからライトアップされたポタラ宮殿が見える。

十一月二十日

出発は遅い。北京との時差の実際は三時間近くあるのだ。朝食は定番の味の無いおかゆと味の無いマントウがーんと。日本から持

ち込んだゆかりとお茶漬けのもとを混ぜておいしくいただく。ホテルのロビーに集合して動脈血酸素飽和度検査。八〇%台回復で気をよくする。最初の見学は巡礼路の一部で仏画がたくさんある、サンゲ・ドゥンゲへ。朝からたくさんの人でにぎわっている。経文が掘られたマニ石が積み重ねられたマニ塚を一周する。ここでも五体投地を多くの人が行っている。

次は、ダライラマの避暑地(離宮)ノ布林カへ。七世から一四世までの離宮が建つ。その世代の権力と業績の差が大きさや造形によつて違う。花の時期は綺麗だと想像できるが今の時期は無し。建物の外は写真OK。中は脱帽に撮影、サングラス禁止。色が変わるメガネの私は外す方が多い。歩き疲れた頃、次へ移動。

チベット人民家訪問。よくあるツアーですな。バター茶を飲んでからトウクパで昼食。日本でいうすいとん。ヤクの肉入り。定番の民族衣装を着て記念撮影。日本人がこの衣装を着れば問題なくチベット人だ。

昨日軽く訪れたジョカン寺(大昭寺)へ再び。今度は中に入る。チベット仏教発祥の地と言われる

だけあって荘厳な雰囲気がある。外に出てから八角街の市場へ。いつもの衛生面など考えていないらしいアジアの市場風景。中華料理は何でも火を通すわけだ。

十一月二十一日

朝一番で予約が取れたポタラ宮殿。9:00開門のため行列へ。寒いと脅されていたが真冬の前橋位の温度。高度はあるが緯度が低く九州あたり。

間近で見る宮殿は迫力がある。外は撮影OKなので坂をゆっくり歩きながら写真撮影。高所なので息絶え絶え。登っていくとラサ市内の展望が開けてくる。

周りの山は荒涼としている。門をくぐるとさつそく仏画のお出迎え。広い中庭が最終写真。ここから撮影禁止。宮殿向かって右の政治の中心だったところから見学。狭い階段を上って一番高いところから宮殿左に移動。代々のダライラマの住居とお墓(ストウパ)がある。見学コース順に歩くのだが、どこを歩いているのかそのう

ちにわからなくなる。観光客とガイドでごった返している。時間制限があり時間オーバーすると罰金となる。ポタラ宮殿は権力の象徴であつたことを理解。

裏手から出て正面に回り記念撮影。いい写真が撮れた。昼食へ

午後は、河口慧海、多田等観が学んだセラ寺へ。きれいな砂曼茶羅、大きな読経部屋を見てから、修行僧の問答を見学。撮影禁止だがスマホなら撮影OK。不思議だ。

二人の日本人は言葉もよくわからず、飛行機、鉄道、車がない時代によくどこまで来たと感じしき

り。帰ったら本を読むことに。

夕食はなぜかネパール料理に連れて行かれる。定番のタルカリダルバート。

やっぱりギャコック鍋が食べたかった。

十一月二十二日

早朝にたつてチベット仏教4大聖地といわれるヤムドゥク湖へ。ここ2日で五〇年分の仏像を拝んだので今日は

良い景色を眺めよう。もちろん無料の高速道路でラサ空港方面へ。ヤルツアンポー(インドでプラプトラ)

を渡る。詳細は角幡唯介氏の「空白の五マイル チベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む」をぜひ読んで！ やたらと

梯子の絵が描いてあるところがあり、ガイドの話では鳥葬が行われている山とのこと。ぐっと高度を上げ始める手前で車の調子が今一つ。だましましたという雰囲気でなんとか四七五〇m

便の名前があり慌てる。確認すると8番ゲート！ さらに慌てて移動、何とか間に合う。平気で変わるんだなー！ 危ない危ない。

飛行機からの眺めは抜群。雪をかぶった高い山がたくさん見えるが、もちろん名前がわからない。二〇〇〇万都市成都に戻る。夕食に火鍋を〇氏に勧められるが辛いのが苦手な人がいるので回避。近くの四川料理屋へ。四川に来たらやはり麻婆豆腐を頂かなければならない。しつかり辛い！ ピールがすすむ。他の料理も辛い。でもおいしかった。次の日のお尻が心配。

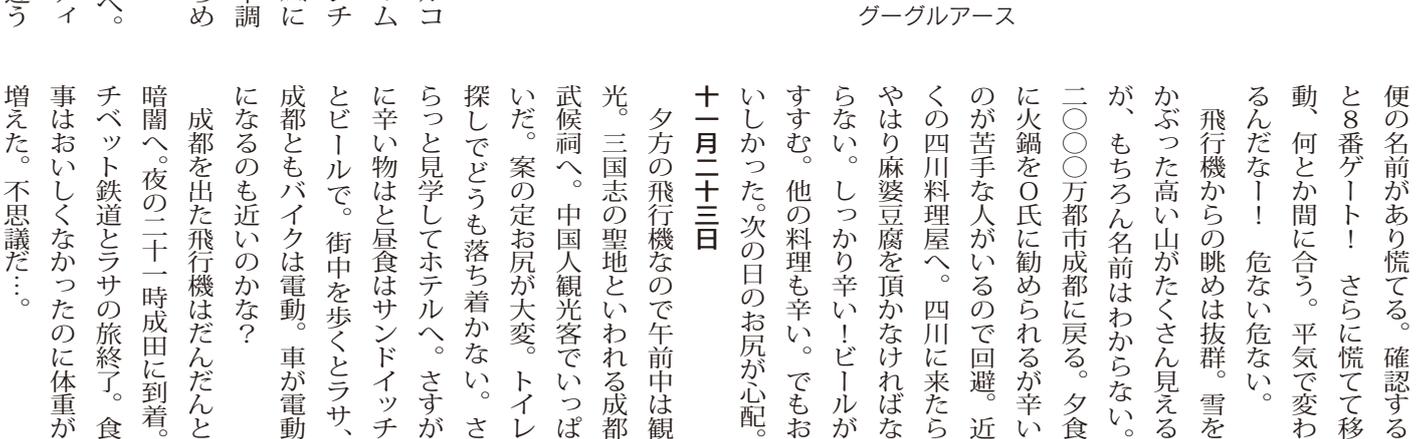
十一月二十三日

夕方の飛行機なので午前中は観光。三国志の聖地といわれる成都武侯祠へ。中国人観光客でいっぱい。案の定お尻が大変。トイレ探してどうも落ち着かない。さ

らつと見学してホテルへ。さすがに辛い物とは昼食はサンドイッチとビールで。街中を歩くとラサ、成都ともバイクは電動。車が電動になるのも近いのかな？

成都を出た飛行機はだんだんと暗闇へ。夜の二十一時成田に到着。チベット鉄道とラサの旅終了。食事はおいしくなかったのに体重が増えた。不思議だ…。

のカムパ峠に到着。眼下にトルコ石のような色をした湖面のヤムドゥク湖。はるか向こうにニンチンカンサ峰。ガイドブック風に「壮大な風景を堪能」。車は絶不調となり、湖畔に行くのはあきらめる。運転手と車を代えてラサ空港へ。高所ともこれでお別れ。ボーディングパス記載の3番ゲートに違う



グーグルアース

青藏チベット鉄道





株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638

弱電工事承ります。
電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN 及び Wi-Fi 環境)、
TV アンテナ及びケーブル工事
パソコンで悩んでいませんか?
ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。
(難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由
群馬県前橋市高花台 1-6-5
電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2
TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026